

2024年3月

学校法人 逗子開成学園 教育環境充実資金募金 『みらい募金』趣意書

学校法人 逗子開成学園
理事長 目黒 泉

逗子開成学園は、1903年に東京開成中学校の分校、第二開成中学校として逗子に設立されました。1909年に東京開成より独立して逗子開成中学校と改称し、1947～1948年の学制改革によって新制の中学校及び高等学校となり、今日に至っています。

第二開成中学校は、初代校長・田邊新之助を中心に、教員6名と70余名の1、2年生をもって発足した小さな学園でしたが、以来120年、幾多の試練を乗り越え神奈川県下最古の私立男子校として、その歴史と伝統を誇る学園に成長してまいりました。この間に3万名を超える卒業生を社会に送り出し、近代日本の発展に寄与してきたものと自負しております。

1984年に、当時の理事長・徳間康快のもと、学園を「21世紀の国際社会を担える高度な知識や人間性豊かな情操、たくましい行動力といった力を生徒が身につける」場とする構想がうちたてられました。

以来、学園構想を具現化するために、教育環境の充実とともに、教育内容の改革を続けてまいりました（別紙「徳間康快理事長以降の教育環境充実・一覧」）。これにより、ヨット実習や映像教育、土曜講座など本校ならではの教育を展開しました。そして、現在では一般的となったコンピュータを活用した教育や国際交流を、いち早く導入するなど、本校の通底する「進取の精神」を具現化する教育を展開しています。

また、1986年の中学再開を契機として進学校化への改革を進めた結果、大学進学実績が向上し、それにともない本校の志願者も着実に増加して、今では首都圏で注目される私立男子校になりました。

現在、世の中そして教育界は目まぐるしく変動しています。本校では、新しい時代の教育をリードする気構えで、1984年から進めてきた構想を、今後より進化させてまいります。あわせて、新たな時代にふさわしい教育環境をより充実させてまいります。

学校法人の目的は教育と研究活動にあります。その振興のために、豊かな資金は大きな可能性につながりますが、その財源の確保、増加を図る方法はごく限られています。申すまでもなく、学校施設の維持管理に加え、教育環境の拡充にも、学校資金をもってすることはもとよりですが、皆様方のご援助も、是非お願いしたい次第であります。

以上の点をご理解いただき、本校の益々の発展のために、ひいては日本の教育に光明を与える私学の振興のために、皆様の絶大なご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

以上



募 金 要 項

■募金対象事業

- ①施設・設備等、教育環境の整備
- ②教育内容の充実

■寄付の種別

- 個 人 : 1口 5,000円 (1口以上、何口でも結構です。)
- 法 人 : 口数によらずご協力をお願いいたします。

■募金期間

募集期間は特に定めませんので、いつでも、また複数回のご協力をいただくことも可能です。

■払込方法

同封の払込用紙により、郵便局または所定の銀行にてお払込み下さい。
または、本校事務所へ直接ご持参ください。

■寄付に対する減免税の措置

【個人の場合】

特定公益増進法人に対する寄付として、以下の「所得控除」もしくは「税額控除」の適用を受けることができます。

[所得控除] 個人が2,000円を超えるご寄付をされた場合には、2,000円を差し引いた金額が、所得金額から控除されます。(所得金額の40%が限度)

[税額控除] 寄付金の約40%が所得税額から控除されます。(所得税額の25%が限度)

寄付金控除の手続きは、学園発行の「領収書」と「特定公益増進法人証明書(写)」を郵送いたします。それを添えて確定申告期間内に所轄税務署にご申告ください。

但し、新入生(新中学1年生のみ)の保護者(保証人)の場合、入学した年内の寄付金につきまして、税法上「学校の入学に関してなす寄付金」とみなされ、寄付金控除の対象から除外されます。

【法人の場合】

日本私立学校振興・共済事業団(以下「事業団」と言う)を通じて寄付者が指定した学校法人に寄付していただく「受配者指定寄付金」制度の受入を行なっています。この制度を利用すると寄付金の全額を損金に参入することができます。事業団への諸手続きは学園で行いますので事務所までご連絡をお願いします。

■個人情報

ご寄付頂いた方の氏名・住所等の個人情報は、本学園が行う寄付金募集業務以外には利用致しません。

■お申込み・お問い合わせ先

学校法人 逗子開成学園

TEL.046-871-2062

〒249-8510 神奈川県逗子市新宿 2-5-1

FAX.046-873-8459

<http://www.zushi-kaisei.ac.jp/>

徳間康快理事長以降の教育環境充実・一覧

	式典 / 生徒募集	教育内容	施設
1984	・八方尾根遭難者合同慰霊祭		・校庭に散水設備設置 ・全教室に暖房設備設置
1985			・A V C 教室完成 ・学生食堂開設
1986	・ 中学校を再開 (1期生 56名入学)	・「芸術の日」「社会科見学」「文学歴史探訪」開始 ・ヨット製作・帆走実習開始 ・英語科コンピュータ学習プログラム開発	・ 中学棟完成
1987		・「理科体験学習」開始	
1988		・映画鑑賞会開始 (毎月1回) ・中3遠泳開始(逗子湾 1500m)	・1号館・体育館改修工事 ・創立85周年記念講堂(徳間記念ホール)竣工
1989		・3学期制を2学期制に変更 ・「開成シネマ倶楽部」発足(現在休止)	・体育館にトレーニングルーム設置 ・海洋教育センター竣工
1990		・クラブ改革 ・シアトルの夏期研修開始(現在なし)	
1992			・コンピュータ室、新図書室設置
1993	・ 創立90周年記念式典	・高校1年B E A T週間開始(現在なし)	・ 中学棟職員室増築
1995		・高校「家庭科集中講義」開始(現在なし)	・K++棟竣工 ・グリーンネット完成
1996		・サンフランシスコ夏期研修開始(現在なし)	・外構工事竣工(外塀撤去) ・全館冷暖房設置 ・本館トイレ改修工事
1997	・ 創立95周年記念式典		
1998		・週5日制導入(授業5日制) ・土曜講座開講	・セミナーハウス開設 ・コンピュータ教育研究所竣工 ・本館屋上改修工事
1999			
2000	・ボート遭難事故90年	・オーストラリア夏期研修開始(現在なし)	
2001		・中学基礎学力試験開始	・新プール「おゝぞら」完成
2002		・総合学習「人間学」開始 ・選抜クラス、達成度別授業導入	・校舎、グラウンド全面改修 ・芸術棟・理科棟・中学棟改修 ・職員室・教室のリニューアル
2003	・ 創立100周年記念式典 ・高校生徒募集停止 ・帰国生入試導入	・アメリカ1年間留学開始(現在はカナダ)	・体育館改修 ・校内+家庭C Pネットワーク完成。
2004		・高2総合学習アジア研究旅行開始(選択制)	・太陽光、風力発電、緑化システム設置
2005		・中3ニュージーランド研修旅行開始 ・カナダ夏期研修開始	
2006			・新理科棟、新芸術棟、メディア棟完成
2008			・海洋教育センター増築
2009		・「選抜クラス入れ替え制」見直し ・定期試験の検討	・ターフグラウンド完成(人工芝) ・研修センター完成(記念ホール隣接地)
2010	・ボート遭難事故100年忌	・進級基準見直し	・徳間記念ホール空調・音響・プロジェクタ改修
2011		・「経営戦略会議」提言：東大合格者数 ・全国の公立・私学進学校訪問	・武道館耐震工事
2012		・神奈川&東京私立進学校訪問 ・「進学の手引き」配布開始(中3以上)	・防災倉庫設置 ・照明LED化(一部施設を除く) ・放送設備全館ネットワーク完備 ・メディア棟手前渡り廊下改修工事 ・教室にプロジェクタ設置(中1・2、他) ・ライフジャケット教室設置 ・教室空調設備更新
2013	・ 創立110周年記念式典	・東大合格目標10名(14名)達成 ・「学習の手引き」配布開始(中学生)	・教室にプロジェクタ設置(中3・高3、他)
2014		・高3国立クラスに難関国立クラス設置 ・東京大学海洋アライアンスと協定締結	・教室にプロジェクタ設置(高1・2、他)
2015		・アメリカ夏期研修旅行開始 ・高1総合学習「交渉学」開始 ・教育課程特例校に認定 ・「海洋人間学」開始(中学)	・クラブハウス完成(体育館隣接地) ・グラウンド全面人工芝化 ・一号館屋上ピッチング場設置 ・机・椅子交換(中1)
2016		・模擬国連参加開始 ・エンパワーメントプログラム参加開始 ・ニュージーランド短期留学開始	・柔道場畳交換 ・机・椅子交換(中2~高3) ・各教室プロジェクタ用スクリーン設置
2017		・フィリピン・セブ島夏期語学研修開始 ・校内語学研修 ICEP 開始(中1・2)	・教室無線LAN設置
2018		・校内語学研修 ICEP 開始(中3・高1)	・移動バスケットゴール2機設置
2019		・春季カナダ短期留学開始	・ポータルサイト刷新 ・C P地下、移動教室椅子机刷新
2020		・新型コロナウイルス感染拡大のため4月休校、 5月オンライン授業 宿泊を伴う活動延期・中止	・新型コロナ感染対策設備・備品導入
2021		・11月より宿泊を伴う活動再開	・ターフグラウンド更新 ・ターフグラウンド隣地に部室を設置
2023	・ 創立120周年記念式典		・生徒用トイレ洋式化完成 ・八方尾根ケルン改修工事
2024			・体育館・武道館に空調設備設置(6月予定)